

注3

大学番号：国072

[平成25年度設置]

計画の区分：学部^{注1}の学科の設置

注1

事前伺い

福岡教育大学 教育学部
環境教育課程及び芸術課程

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福岡教育大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営政策課 計画・評価室

職名・氏名 室長・伊藤^{イトウ} 慶之^{ケイシ}

電話番号 0940-35-1410

（夜間） 0940-35-1410

F A X 0940-35-1259

e-mail hyokahos@fukuoka-edu.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	7
3	施設・設備の整備状況, 経費	13
4	既設大学等の状況	14
5	教員組織の状況	15
6	留意事項に対する履行状況等	17
7	その他全般的事項	18

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 福岡教育大学

(2) 大 学 名

福岡教育大学

(3) 大学の位置

〒811-4192

福岡県宗像市赤間文教町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
理 事	該当なし		
学 部 長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成 23 年度に報告済の内容 → (23)

平成 25 年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は，平成22年度開設の4年制の学科の場合（平成25年度までの4年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部	年	人	年次人	人	
環境教育課程 学士（環境教育）	4	20		80	
芸術課程 学士（音楽） 学士（芸術）	4	27		108	

- (注) ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

環境教育課程

対象年度 区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 20 (-) [若干名]	人 -	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.00倍	
志願者数	147 (-) [1]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	106 (-) [1]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	26 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	20 (-) [0]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.00									

芸術課程

対象年度 区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 27 (-) [若干名]	人 -	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.03倍	
志願者数	112 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	102 (-) [1]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	29 (-) [1]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	28 (-) [0]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B / A	1.03									

- (注) ・ 数字は、平成 2 5 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点第 2 位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

環境教育課程

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[-] 20	[-] -	[] []	[] []	[] []	[] []	[] []	[] []	
2 年次			[] []	[] []	[] []	[] []	[] []	[] []	
3 年次					[] []	[] []	[] []	[] []	
4 年次							[] []	[] []	
計							[] []	[] []	

芸術課程

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[-] 28	[-] -	[] []	[] []	[] []	[] []	[] []	[] []	
2 年次			[] []	[] []	[] []	[] []	[] []	[] []	
3 年次					[] []	[] []	[] []	[] []	
4 年次							[] []	[] []	
計							[] []	[] []	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

環境教育課程

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	20 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	20 人	0 人					0 %

芸術課程

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	28 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	28 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<教育学部 環境教育課程>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	環境と物理学	1後	2								兼 1	
	自然環境予測	2後	2								兼 1	
	分析化学	2前	2								兼 1	
	環境とエネルギー	2後	2			1						
	保全生物学	2後	2				1					
	自然災害環境	2後	2								兼 1	
	環境生物学	3前	2								兼 1	
	物理学概論	1前		2							兼 1	
	基礎生物学実験Ⅰ	1前		1			1				兼 2	オムニバス
	基礎化学実験Ⅰ	1前		1		1						
	固体地球科学Ⅰ	1前		2							兼 1	
	化学概論	1前		2				1				
	物理学実験Ⅰ	1後		1							兼 1	
	基礎生物学Ⅰ	1後		2							兼 1	
	地学実験Ⅰ	1後		1		2					兼 1	オムニバス
	電磁気学	2前		2							兼 1	
	遺伝学	2前		2							兼 1	
	物理学実験ⅡC	2前		1							兼 1	
	無機化学	2前		2		1						
	植物自然史実験	2前		1				1				
	基礎生物学実験Ⅱ	2前		1							兼 2	オムニバス
	基礎生物学Ⅱ	2前		2							兼 1	
	地学実験Ⅱ	2前		1		1					兼 1	オムニバス
	動物生態学	2前		2							兼 1	
	力学Ⅰ	2前		2							兼 1	
	集団遺伝学	2後		2							兼 1	
	解析方法論	2後		2		1						
	自然環境予測演習	2後		1		1						
	発生学実験	2後		1							兼 1	
	環境教育生物実習Ⅰ	2後		1				1			兼 1	オムニバス
	環境と微生物	2後		2							兼 1	
	物理化学	2後		2							兼 1	
	植物生理学実験	2後		1							兼 1	
	有機化学	2後		2		1						
	力学演習	2後		1							兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加
	電磁気演習	2後		1							兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加
天文地球物理学Ⅰ	1後		2							兼 1		
基礎化学実験Ⅱ	2後		1		1	1					オムニバス	
固体地球科学Ⅱ 地球表層環境	2前 2後		2							兼 1	授業科目名を再検討し、変更 時間割編成の事情により、配当年次を変更	
自然構造論	3前		2							兼 1		
発生学	3前		2							兼 1		
生態学実験	3前		1							兼 1		
環境有機化学実験	3前		1							兼 1		
環境フィールド調査	3前		1		2					兼 1	オムニバス	
環境とホルモン	3前		2							兼 1		
環境情報処理	3前		1							兼 2	オムニバス	
現代地学A	3前		2							兼 1		
熱・統計力学	3前		2							兼 1		
無機物質環境論	3前		2		1							
溶液分析化学	3前		2							兼 1		

植物形態学	3前	2		1					兼 1	授業科目名を再検討し、変更
有機物質環境論	3前	2		1					兼 1	
天文地球物理学Ⅱ	3前	2							兼 1	
地下資源開発と環境	3前	2							兼 1	
九州の自然環境	3前	2							兼 1	
マイクロサイズの物理現象	3前	2		1					兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加
力学Ⅱ	3前	2							兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加
物理数学演習	3前	1							兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加
環境教育フィールド実習A	3前後	2								
環境教育フィールド実習B	3前後	4								
環境教育フィールド実習C	3前後	2								
遺伝学実験	3後	1							兼 1	
進化生物学	3後	2							兼 1	
環境現象とシミュレーション	3後	1							兼 1	
環境物理化学実験	3後	1							兼 1	
環境教育生物実習Ⅱ	3後	1							兼 2	ムニバス
環境の中の音と光	3後	2							兼 1	
現代地学B	3後	2							兼 1	
現代化学Ⅰ	3後	2							兼 1	
量子物理化学	3後	2		1						授業科目名を再検討し、変更
無機分析環境化学実験	3後	1		1						
植物生態学	3後	2							兼 1	
新地学情報	3後	2							兼 1	
地球環境発達史	3後	2		1						
地学ゼミナールA	3後	1		3					兼 2	
熱・統計力学演習	3後	1		1						当該分野の充実を図るために、科目を追加
量子力学演習	3後	1							兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加
環境化学セミナー	4前	1		1						
現代化学Ⅱ	4前	2							兼 1	
物質環境論	4前	2							兼 1	
核・放射線と環境	4前	2		1						
地学ゼミナールB	4前	1		3					兼 2	
環境化学機器実験	4前	1							兼 1	

<教育学部 芸術課程>

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
	声楽基礎演習 A	1前		2							兼 1	
	声楽基礎演習 B	1後		2							兼 1	
	声楽表現演習 A	1前		2		1						
	声楽表現演習 B	1後		2		1						
	声楽特殊研究Ⅰ	2前		2							兼 1	
	声楽特殊研究Ⅱ	2後		2							兼 1	
	声楽特殊研究Ⅲ	3前		2		1						
	声楽特殊研究Ⅳ	3後		2		1						
	ソルフェージュⅠ	1前	2								兼 1	当該分野の科目増設に伴い、授業科目名を再検討し、変更
	ソルフェージュⅡ	1後		2							兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加
	声楽アンサンブル・舞台発声法 A	2後		2							兼 1	隔年開講
	声楽アンサンブル・舞台発声法 B	2後		2							兼 1	隔年開講
	オペラアンサンブル A	3前		2		1						隔年開講
	オペラアンサンブル B	3前		2		1						隔年開講
	合唱	2後	2								兼 1	
	伝統声楽	3前		1							兼 2	オムニバス
	ピアノ基礎Ⅰ	1前		2			1					授業科目名を再検討し、変更
	ピアノ基礎Ⅱ	1後		2			1					授業科目名を再検討し、変更
	ピアノ技巧演習 A	2前		2			1					
	ピアノ技巧演習 B	2後		2							兼 1	
ピアノ技巧演習 C	3前		2							兼 1		

専門科目（音楽コース）	ピアノノ表現演習A	2前		2		1						
	ピアノノ表現演習B	2後		2		1						
	ピアノノ表現演習C	3前		2		1						
	ピアノノ技巧論	3後		2						兼	1	
	ピアノノ表現論	3後		2		1						
	管弦楽器A 管弦楽器Ⅰ	1前		2						兼	1	授業科目名を再検討し、変更
	管弦楽器B 管弦楽器Ⅱ	1後		2						兼	1	授業科目名を再検討し、変更
	管弦楽器技巧演習	2前		2						兼	1	
	管弦楽器表現演習	2後		2						兼	1	
	管弦楽器技巧論	3前		2						兼	1	
	管弦楽器表現論	3後		2						兼	1	
	器楽アンサンブルⅠ	3前		2			1					
	器楽アンサンブルⅡ	3後		2						兼	1	
	オーケストラ入門A	1前		1						兼	1	隔年開講
	オーケストラ入門B	1前		1						兼	1	隔年開講
	オーケストラA	3前		1						兼	1	隔年開講
	オーケストラB	3前		1						兼	1	隔年開講
	伴奏法	3前		2			1					
	邦楽器	3後		1						兼	1	
	指揮法	2後		2						兼	1	
	音楽理論基礎	1前	2							兼	1	
	和声学Ⅰ	1後	2				1					
	和声学Ⅱ	2前	2				1					
	作曲法Ⅰ	2後		2			1					
	作曲法Ⅱ	3前		2			1					
	作曲基礎技法Ⅰ	1前		2			1					
	作曲基礎技法Ⅱ	1後		2			1					
	作曲基礎技法Ⅲ	2前		2			1					
	作曲技法研究	3後		2			1					
	編曲法	3後		2			1					
楽式論	2前		2						兼	1		
西洋音楽史	1後	2							兼	1		
西洋音楽史詳論	2後	2							兼	1		
日本東洋音楽史Ⅰ	2前		2						兼	1		
日本東洋音楽史Ⅱ	2後		2						兼	1		
音楽史特殊研究A	3前		2						兼	1	隔年開講	
音楽史特殊研究B	3前		2						兼	1	隔年開講	
楽曲研究	3前		2						兼	1		
マルチメディア	3前		2			1						
音楽研究論	3後		2						兼	2	オムニバス	
近現代音楽論	3後		2			1			兼	1	オムニバス	
演奏学ゼミ	4前		2			3	1		兼	3		
インターンシップA	3前後		2									
専門科目（美術コース）	絵画基礎A（デッサン）	1前	2				1	+				担当教員の職位変更
	絵画基礎B（水彩）	1後	2						兼	1		
	油彩画A（静物）	2後		3			1	+				※講義 担当教員の職位変更（准教授へ昇任）
	油彩画B（人物）	3前		3			1	+				※講義 担当教員の職位変更（准教授へ昇任）
	日本画	3後		3					兼	2	オムニバス ※講義	
	水彩画A 水彩画	2前 4後		2 3					兼	1		※講義 当該分野の科目増設に伴い、授業科目名・配当年次・単位数を再検討し、変更
	水彩画B	3前		2					兼	1		当該分野の充実を図るために、科目を追加
	版画A	3前		3					兼	1		※講義
	彫刻基礎A（デッサン）	1前	2				1					
	彫刻基礎B（塑像）	1後	2						兼	1		
	木彫	2後		3			1					※講義
	石彫	3前		3					兼	1		※講義
	素材彫刻	3後		3					兼	1		※講義
	人体習作	4前		3					兼	1		※講義
	構成デザイン基礎A（平面）	1後	2						兼	1		
	構成デザイン基礎B（立体）	2前	2				1					
	構成デザイン理論	1前		2			1					
	色彩学	1前		2					兼	1		
	立体表示	1後		2			1					
	環境造形	3前		3					兼	1		※講義
ビジュアルデザイン	2後		3					兼	2	オムニバス ※講義		
プロダクトデザイン	3後		3					兼	2	オムニバス ※講義		

[illegible]

(注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。

・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)

・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

環境教育課程

藝術課程

(注)・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室	室			
(4) 専任教員研究室	新	該 当 な し				(例) 平成25年4月 専任教授1名を新規 採用のため (25)		
	〇〇							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	福 岡 教 育 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 定 学 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
教育学部	年	人	年次 人	人		倍			
初等教育教員養成課程	4	331	若干名	1231	学士 (教育学)	1.06	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
中等教育教員養成課程	4	147	若干名	537	学士 (教育学)	1.06	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
特別支援教育教員養成課程	4	50	—	200	学士 (教育学)	1.07	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
共生社会教育課程	4	55	若干名	220	学士(福祉社会教育, 国際共生教育)	1.11	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
環境教育課程	4	20	—	20	学士(環境教育)	1.00	平成25年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
芸術課程	4	27	—	27	学士(音楽, 芸術)	1.03	平成25年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
環境情報教育課程	—	—	—	—	学士(情報教育, 環境教育)	—	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	平成25年より 学生募集停止
生涯スポーツ芸術課程	—	—	若干名	—	学士(音楽, 芸術, スポーツ科学)	—	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	平成25年より 学生募集停止 ※編入学試験は 生涯スポーツ芸術 課程で実施
教育学研究科									
教育科学専攻	2	80	—	160	修士(教育学)	0.96	平成21年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	0.95	平成21年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)について, それぞれの学校種ごとに, 平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際, AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。

(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜教育学部 環境教育課程、芸術課程＞

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)										
専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成22年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆ (〇〇)	平成23年4月	国際経済学	平成23年3月 〇〇〇〇教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更(23) 平成23年7月 AC教員審査済(24)
					兼任	講師	◇◇◇ (〇〇)	平成23年4月	日本経済概論	
								3年10月	国際経済学 日本経済概論	
					該当なし					
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成23年4月	商						……………のため、就任が遅延 (23)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成24年10月	金融論						平成24年10月 □□□□准教授就任辞退(25) 「後任未定」平成25年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成25年4月	〇〇〇〇論	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)

(注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・ 後任が決まっていなかった場合には、「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていなかった場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・ 意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
17	3	1	0	21	17	4	0	0	21	63	3
(17)	(4)	(0)	(0)	(21)	[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	歳	名

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<教育学部 環境教育課程, 芸術課程>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	該当なし 性をより高めるため, 必修科目 (1 科) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) 環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等	該当なし
--	---

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

・平成25年5月1日 公表

該当なし

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成25年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成25年 6月頃)